

7/6(水)法学部主催講演会

グローバル時代に法務が目指すもの

法学部は国際企業法務に精通する弁護士を招き、海外ビジネスに必要なスキルや法律についての講演会と研究会を開催する。

※両方とも一般参加可、無料、事前申し込み不要

■講師:加藤 龍司氏(アンダーソン・毛利・友常法律事務所弁護士)

<講演会>

■テーマ:グローバル時代に法務が目指すもの

■日時:2016年7月6日(水)15時10分~16時40分

■場所:西宮上ヶ原キャンパスB号館303教室

■対象:主として学部学生

<研究会>

■テーマ:銀行規制の潮流と銀行法

■日時:2016年7月6日(水)17時~18時20分

■場所:西宮上ヶ原キャンパス法学部本館3階大会議室

■対象:主として大学教員、大学院生および実務家

■問い合わせ:いずれも法学部(Tel:0798・54・6203)

体験型ワークショップ

「JETROと一緒に海外を攻める」

関西学院大学産業研究所は、日本貿易振興機構(JETRO)から講師を招き、体験型ワークショップを開催する。

海外を相手に活動する企業をサポートする政府の機関であるJETROは、海外約70、国内約40の拠点が、2千人を超える職員が数万社の企業を支援する活動に携わっている。今回は、JETROの支援で海外進出を果たした企業の事例に基づいた架空の事例をワークショップ形式で検討。日本企業が海外進出に際してどのようなハードルを越えていく必要があるのかという観点から、「世界を相手に仕事をする」ことを体験する。

※一般参加可、無料、事前申し込み不要

■日時:2016年6月29日(水)15時10分~16時40分

■場所:西宮上ヶ原キャンパスB号館303教室

■講師:滝洋一郎氏(JETROサービス産業部 サービス産業課)

■問い合わせ:

関西学院大学産業研究所(Tel:0798・54・6127)

傷ついた子どもたちを支援
ドイツ国際平和村でボランティア

川東 真歩さん 社会学部4年生

2015年9月から約半年間、ドイツ西部のオーバーハウゼン市にある「ドイツ国際平和村」で、アフガニスタンやアンゴラなどの紛争地や貧困地で傷ついた子どもたちを支援するボランティアに参加した。

平和村は、致命的なけがを負っても母国で治療を受けられない子どもたちを医療援助する機関で、手術後から帰国までの間、リハビリしながら共同生活を送る施設などがある。

検温、検尿、血圧測定などとともに起床から就寝まで食べたり遊んだり、子どもたちの生活に付き添った。活動を終えて、「平和について自分なりの答えが見つかった気がします」と笑顔で語る。参加前には「戦争はよくないと分かっているけど、平和とは何かと問われると答えられなかった。そもそも医療援助する機関で平和構築に寄与できるのか」と不安だった。それでも「平和について考えたい」と挑戦。その結果、けががある程度治って帰国していく子どもたちが語る「国に帰ったら勉強してお医者さんになる」という言葉に「平和」を見たという。戦争しか知らなかった子どもが、「ナイフは人を傷つけるものではなく、メスとして人を治療するもの」と分かったからこそその言葉だった。関西学院大学でしかできないことに挑戦したいと考え、参加した国際ボランティア。「自分の経験を学生や高校生に発信していきたい。社会人になっても常に高い目標を持ち、それにアプローチしたい」と今後を見据えている。



本資料に関する報道関係者からの問い合わせは関西学院広報室(TEL:0798・54・6017)までお願いします。